

初回
6/16(金)
スタート

つながり
共創で
津山を
熱くする

求む!津山の未来の挑戦者

「モノの時代」から「コトの時代」へ、さらに「ココロの時代」へと大きな時代の変化の中、ビジネスの場では、自ら考え、問い、行動し、問題を提示していく力が求められています。

つやま産業塾では、受講者同士とともに「共創」し、「つながり」を深めていくことでマインドセットの変容を促し、時代に必要な「しなやかさ」を磨いていきます。

地域の仲間との「つながり」を深め、ともに成長を目指しましょう。

全8回のプログラム

これからの自分を磨く、

地域の仲間とつながり、

第27期つやま産業塾プログラム

DAY.01

開講式

プログラムファシリテーターの安川氏より、本塾の目的や内容紹介を説明するとともに、受講するにあたってのマインドセットや意識づけを行います。また受講者同士の自己紹介、個人・自社の課題の共有などを通じてチームビルディングを促しながら、学習する組織としての形成を図っていきます。

講師：安川 幸男 氏

6/16 金 18:00~20:30

DAY.02

哲学から考える、生きる意味と自己理解

予測不能な時代を迎えた今、ビジネスパーソンに必要なのは事業を行っていく上でも、広い教養と審美眼、より良い世界をつくるための規範的判断力が必要です。ここでは西洋哲学のエッセンスを用いながら、自己と向き合い、良質な問いをつくるプロセスを通じて思考の基盤をつくります。

講師：森内 勇貴 氏

7/7 金 18:00~20:30

DAY.03

私にとっての仕事観 ~チームビルディングで紡ぐ

なぜ私は働くのか、私の中の仕事とは、仕事の中の私とは何か。組織から個の時代へとシフトする今、ハタラクことの意味を自分に引き寄せて考える、事業の先にあるパーパスや自分事化についてチームビルディングを図りながら進めます。

講師：原田 博一 氏

7/28 金 18:00~20:30

ONLINE

グループメンタリング

オンラインでのグループメンタリングにより、今までの受講内容を振り返るとともに、受講生同士のつながりを深めます。

8/3 木

18:00~20:20

DAY.04

対話・マインドフルネス

知識から感情的知性の時代へ。ビジネスの世界でもマインドフルネスやウェルビーイングが注目され、心身や呼吸を整え、内省し、対話を通じて自己の本質的な気づきを得、他者や社会とよりよい関係をつくることが求められている。「対話学」の第一人者を迎え、場づくりを通じた実践的なワークショップから対話による事業創出を学びます。

講師：中村 一浩 氏

8/25 金 18:00~20:30

DAY.05

中小企業のためのデザイン経営

企業が経営戦略にデザインの視点を取り入れ、企業の抱える課題を解決しイノベーションをおこすデザイン経営は、マネジメントとクリエイティブという観点を一体化して推進していく必要がある。会社のアイデンティティを問い、考え続け、人の気持ちをワクワクさせるビジョンを醸し、経営者の美意識を高め、新たな価値を生むデザイン経営を学びます。

講師：近藤 清人 氏

9/15 金 18:00~20:30

DAY.06

事業のツクリカタと社内起業家の精神

社会に見識と業を両立させたく見識業>を生み出し続け、それにより社会がアップデートされ続ける状態を目指す。新規事業開発のエキスパートを迎え、事業立ち上げの「型」を習得しながら社内起業家が持つ世界観や美意識を醸成しながら、中小企業における価値創造と自己体験をクロスさせる手法を学びます。

講師：高岡 泰仁 氏

10/13 金 18:00~20:30

DAY.07

個人・自社の課題を見つめるワークショップ

最終発表へ向けて自己の心持ちや志を再度見つめながら、創発環境としてのグループワークショップを通じて自己の事業や仕事への眼差しを深め整理していく。

講師：安川 幸男 氏 11/17 金 18:00~20:30

DAY.08

成果発表

今まで学んできたことを総括するとともに、受講者から事業やアクションプランの発表を行い、自己の意志を再認識します。またグループで各自発表についての相互理解とさらなるアイデアアクションを行い、プログラムのアウトプットを共有します。

講師：安川 幸男 氏 12/15 金 18:00~20:30

講師紹介

DAY.01

安川 幸男 氏

合同会社イキナセカイ 代表
神戸大学 客員教授



東京生まれ。出版・メディア業界を経て、株式会社NTTデータに入社。持株会社、ドコモなど、15年間NTTグループで事業開発・戦略を担当。2016年、鳥取へ1ターン移住。鳥取県庁へ入庁し、商工労働部にて起業家支援等を担当。その後、株式会社鳥取銀行へ移り、ベンチャー型事業承継、地域創生、大学とのイノベーションプログラムを推進。2020年、産学官金すべてを経験したことを活かし、事業プロデュースに特化した法人を立ち上げる。神戸大学客員教授就任。

DAY.03

原田 博一 氏

株式会社イミカ
代表取締役



1999年富士通入社、2007年より富士通研究所、2017年より現職。ソフトウェアエンジニアを経て、インタビューやフィールドワーク、ワークショップなどの定性調査手法の研究開発や実践、教育に従事。対人コミュニケーションの観点から地域・組織における文脈の早期把握と状況進展プロセスの設計、及び、実行におけるファシリテーションやメンタリングを得意とする。鳥取県「鳥取県×日本財団共同プロジェクト」アドバイザー（2017、2018）、内閣府地域活性化伝道師（2021～）、総務省地域創造アドバイザー（2021～）

DAY.05

近藤 清人 氏

株式会社 SASI
代表取締役



1979年兵庫県丹波市生まれ。西日本を中心に100社を超える中小企業のブランド戦略に携わる。アイデンティティデザインという独自手法で、中小企業の価値を引き出す「デザイン経営」のサポートを行い、中小企業だからできる新たなデザイン経営を実践。さらに、中小企業のデザイン視点を広げるためのプラットフォームとして、カフェを通じたデザイン経営支援を行っている。

DAY.02

森内 勇貴 氏

哲学者



岡山県津山市在住。早稲田大学人間科学部出身。独学で哲学を探究。「生を活かす哲学」の体系化を模索中。東京で様々な仕事を経て、津山へ帰郷。Yokoyama「菊地」を主催し、教育活動に従事。ポートアート&デザイン津山にて哲学講座「座-学“the”-GAKU」を開催。神戸大学V-Schoolで「哲学による価値創造」を担当。

DAY.04

中村 一浩 氏

株式会社 Project Design Office
代表取締役



中村 一浩 / NAKAMURA Kazuhiro ミスミ、リクルートでの事業創出を経て、独立。人の持つ「身体知」を生かした「場」において、「対話」を通じた「共創」に関わる。現在はこのプロセスの組織、社会、日常への実装に向け、様々な企業や地域と社会実験中。上智大理工学部卒、事業構想大学院 事業構想修士。慶應義塾大学システムデザイン・マネジメント研究科 博士課程に在籍。

※ 8/26～8/27 新庄村マインドフルネス合宿
(参加希望者には別途通知)

DAY.06

高岡 泰仁 氏

GOB Incubation Partners 株式会社
取締役副社長 COO



凸版印刷での新規事業創出や事業戦略・組織開発の取り組み経験を活かしGOBへ入社。「世界観に投資する」をミッションとして、起業家や企業の新規事業開発にメンターとして伴走。年間数100の事業に寄り添い、事業を生み出すプロセスを「型」として体系化して伝えている。現在は地域の事業創出に探求し、社会が未発見の課題に取り組む起業家・企業の挑戦に寄り添い活動している。

つやま産業塾「経営能力開発講座」

これまでに、経営者、後継者、管理職など 535 人の受講生が参加した「つやま産業塾」。
第26期となる昨年度は、20名の受講生が集い、塾で学んだ知識や仲間との交流を活かしながら、
今もそれぞれが活躍を続けておられます。



塾生募集要項

受講資格

- 以下の条件をすべて満たす方
- 農商工業等の経営者、後継者、管理者（候補生含む）またはそれに準ずる方
 - 原則、令和5年4月1日現在で満50歳以下の方
 - 過去の「つやま産業塾 経営能力開発講座」の受講回数が3回未満の方

受講料金

1万円（全8回）（津山市外に在住かつ津山市外に在勤する方は2万円）

定員

20名程度（お申し込みは先着順。定員に達し次第受付終了）

会場

アルネ・津山4階 地域交流センター（津山市新魚町17）他

時間

毎回、18:00～20:30に開催します。

申込方法

下記受講申込書に必要事項を記入の上、ファックス又はe-mailによりお申し込みください。
つやま産業支援センターHPからもお申込できます。

申込期限

令和5年6月9日（金）



つやま産業塾
則次 俊郎 塾長

受講申込書

（ふりがな） 氏名		生年月日	
住所	〒 -		
TEL		メールアドレス	PC用のアドレスをご記入ください。
勤務先		勤務先住所	〒 -
業種		役職	

お申し込み・
お問い合わせ

津山市人づくり事業運営委員会事務局 担当：杉山、仁木
〒708-0004 津山市山北663 津山市役所東庁舎1階（みらい産業課内）
Tel.0868-24-0740 Fax.0868-24-0881
E-mail：info@tsuyama-biz.jp



HP <https://www.tsuyama-biz.jp>